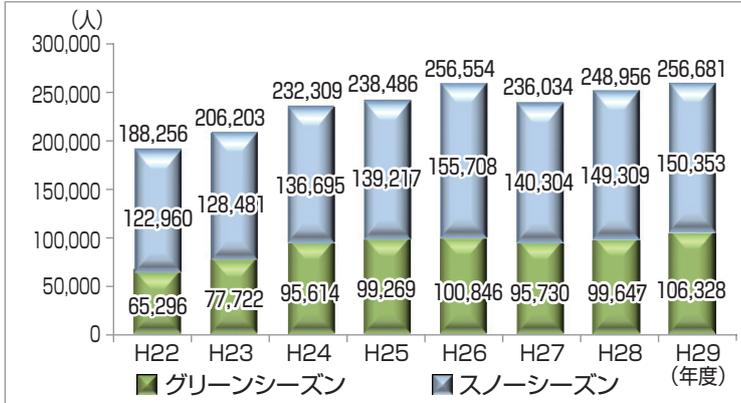


パノラマリゾートと富士見町開発公社の経営状況をお知らせします

問 産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1)パノラマリゾートの状況 ～グリーン・スノーシーズンとも3期連続で対前年を越えました～



スノーシーズン

前年比 101%
スキー・スノーボードだけでなく、キッズパークも人気。入笠山は、雪山でのスノーシュー体験やツアーの人气が高まっています。



グリーンシーズン

前年比 107%
山野草公園では、春から夏、様々な山野草の移り咲きを楽しみ、秋は早朝の雲海やナイトゴンドラでの星空観察が楽しめます。



グリーンシーズン

春先の残雪の影響からここ数年より開花が1週間程度遅れましたが、すずらん、アツモリソウなどを遅くまで鑑賞することができました。マウンテンバイクコースの運営では、トップアスリートの参加に加え、ファミリー層や一般バイカーの参加により盛り上がりました。雲海ゴンドラは認知度が増し、今後の集客に期待が集まっています。9月に全国放映されたテレビ番組の反響が大きく、お盆前後の台風襲来等により大きな痛手を負った状況を補い、結果的に来場者数は10万人を超えグリーンシーズン過去最高の成績となりました。

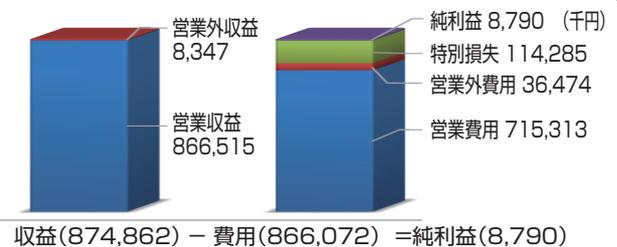
スキーシーズン

11月下旬から冷え込みがあり、予定どおり12月9日にオープンしました。その後も順調に造雪作業が進み、年内には全面滑走が可能となりました。1月中旬以降の寒波の影響で一般のレジャー客層の動きが鈍りましたが、2月のトップシーズンは連日多くの方でにぎわいました。3月は中旬以降暖かい日が続きましたが、ゲレンデのメンテナンスに努め終盤まで全面滑走が可能な状況を保ちました。

●平成29年度パノラマリゾートの会計状況

経営面では、平成28年度決算まで単体の決算では6期連続で赤字を計上していましたが、平成29年度では、8,790千円の黒字となりました。

これは、来場者数の増加により売上が上がったことと、経費を節減する努力が実ったことによるものです。



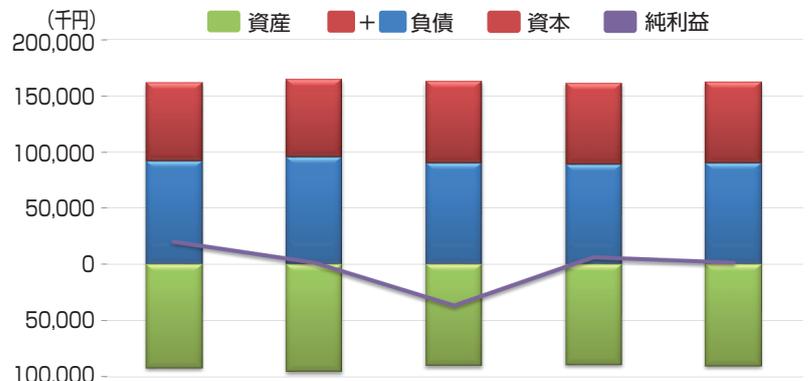
(2)富士見町開発公社の決算状況

富士見町開発公社はパノラマリゾートの他にも、以下のような施設等の指定管理を受託し事業を行っています。

- ・川崎市少年自然の家
- ・多摩市少年自然の家
- ・戸田市少年自然の家
- ・フレンドリーふじみ

パノラマリゾートの会計は平成28年度まで赤字経営が続きましたが、施設管理事業や本社事業を含めた開発公社全体の決算では、安定して黒字化しています。

平成30年度にはパノラマリゾートの金融機関への借入金の返済が終了しますので、更なる成長を目指し、新たな経営方針を検討していきます。



	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
収益	1,473,051	1,553,942	1,375,001	1,512,270	1,476,768
費用	1,452,919	1,551,984	1,411,462	1,505,835	1,475,334
純利益	20,132	1,958	-36,461	6,435	1,434
資産	920,743	953,623	899,709	889,185	901,170
負債	1,615,490	1,646,497	1,629,126	1,612,240	1,622,863
資本	-694,747	-692,874	-729,417	-723,055	-721,693